

経営比較分析表（令和3年度決算）

神奈川県 松田町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	13.96	1,485	

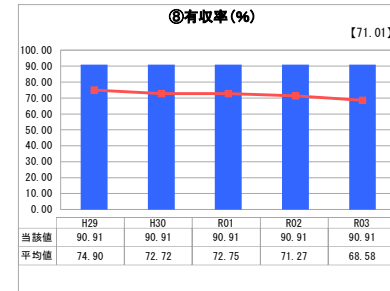
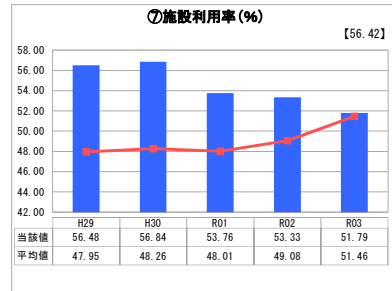
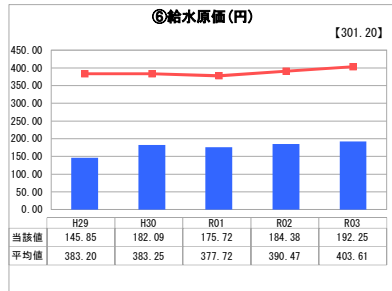
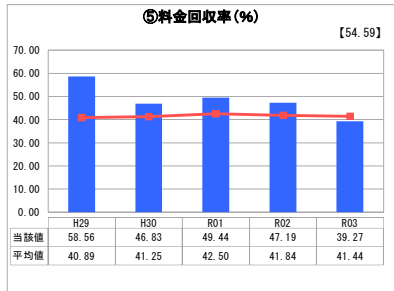
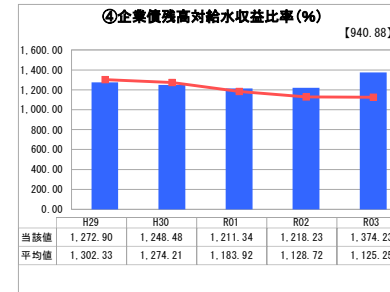
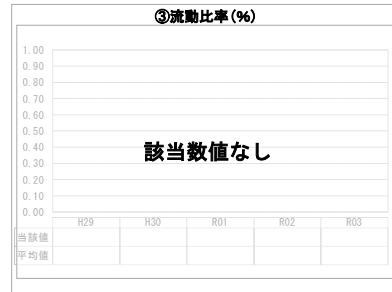
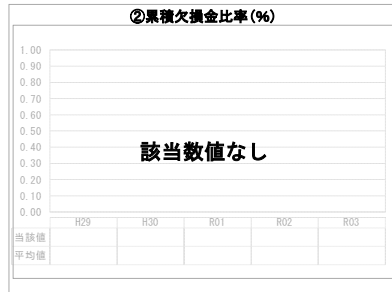
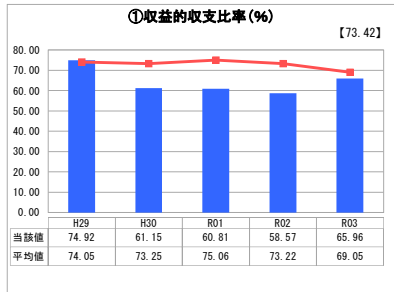
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,756	37.75	284.93
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,491	23.31	63.96

グラフ凡例

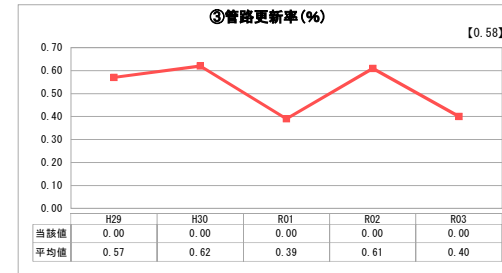
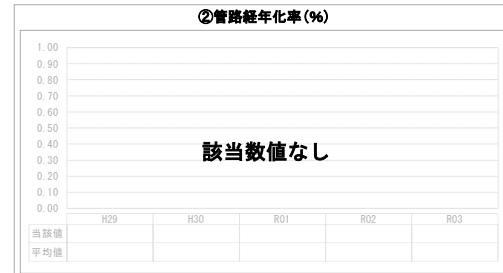
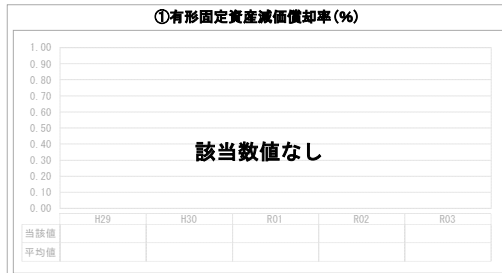
- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

今後も人口減少が続くと予測され、使用料収入についても減少が見込まれます。また、将来的な施設更新の財源の確保を考慮すると、現在の使用料収入の水準では一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況です。経営の健全性・効率性の見地から早急な使用料改定を実施すべきと考えます。

2. 老朽化の状況について

給水区域内の各所に点在する水道施設は、老朽化も顕著で、複数設備が同時に更新時期を迎えるなど費用の負担を多大なものとしています。その反面、水道施設の利用者は今後も減少傾向が続く事が予測され、将来的な水需要を考慮すると、同規模の更新は合理的でないため、ダウンサイジングについて十分に考慮し、結果を反映した施設更新が必要となると考えています。

全体総括

持続する人口減少による使用料収入の減少、老朽化した多数の施設に係る更新費用など、従前の低廉すぎる水道料金では、事業が立ち行かなくなる事が予測できます。従って、公営企業会計の基本理念である、独立採算の見地から早急な料金改定を実施し、安定した事業運営の基盤を築く必要があると考えています。